

釧路町地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

釧路町は、北海道の南東部・釧路管内の南部に位置し、令和4年11月30日現在の人口は19,156人、総面積254.15km²のうち約72.2%を占める山林が広がっており、町内の広範囲に渡り山間部や漁村集落が点在している。

釧路市や近隣町村へ通じる交通手段として幹線交通である路線バス及び鉄道を軸に、町内の広範囲にわたり公共交通網が広がっており、釧路市内の医療機関や町内の大規模商店等への移動手段として、町民の通勤や通学、通院、買い物等の足として重要な役割を果たしている。

一方で、山間部等の一部地域においては、公共交通空白地域となっており、以前から高校への通学は保護者等の送迎なしには通学することができず、また高齢者等における通院、買い物等の生活交通手段の確保が課題となっていたことから、地域公共交通確保維持改善事業により、幹線系統へ接続するデマンド型交通を運行し、高校生の通学、高齢者等の買い物・通院等も含めた住民の生活交通手段の構築を順次進めているところである。

生活交通確保維持改善計画の目標

① 昆布森東地区の高校生の通学の足の確保【尾幌駅前線】

・運行回数：1回（往復）当たりの利用者数 6名

・年間計画運行回数：424回

② 昆布森地域の買い物、通院等における足の確保【昆布森イオン線】

・運行回数：1.5回（上り1便・下り2便）当たりの利用者数 2名

・年間計画運行回数：204回

③ 別保地域・共和地区の買い物、通院等における足の確保【共和別保駅前線】

・運行回数：1.5回（上り1便・下り2便）当たりの利用者数 2名

・年間計画運行回数：204回

地域公共交通の現況

【鉄道】

- ・ JR根室本線（花咲線）～ 別保駅
- ・ JR釧網本線 ～ 遠矢駅・釧路湿原駅・細岡駅

【民営路線バス】

- ・ くしろバス(株) ～ 町内11路線
- ・ 阿寒バス(株) ～ 町内2路線

【民営タクシー】～ 町内3社

協議会開催状況

◆ 令和3年6月29日（書面開催）

・ 地域内フィーダー系統確保維持計画について協議、承認。

◆ 令和5年1月20日（通常開催）

・ 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価について協議、承認。

運行系統名：尾幌駅前線

- ・運行区間：昆布森東各集落⇔厚岸町尾幌駅
- ・運行便数：月～金曜日／上り(朝)1便・下り(夕)1便
- ・実績運行回数：367回
- ・輸送人員：1,128人(1便当たり平均乗車人数 3.0人)
- ・運賃：50円～600円 ※区間料金ごとに定期乗車券あり

運行系統名：昆布森イオン線

- ・運行区間：昆布森全域⇔イオン釧路店
- ・運行便数：日・火曜日／上り(朝)1便・下り(昼・夕)2便
- ・実績運行回数：40回
- ・輸送人員：45人(1便当たり平均乗車人数 1.1人)
- ・運賃：100円～900円

運行系統名：共和別保駅前線

- ・運行区間：共和地区⇔別保駅前
- ・運行便数：月・木曜日／上り(朝)1便・下り(昼・夕)2便
- ・実績運行回数：57回
- ・輸送人員：78人(1便当たり平均乗車人数 1.3人)
- ・運賃：50円～100円

1) プロセス、創意工夫

【共通事項】

- ・運行ダイヤの設定にあたっては、地域の要望等を聞きながら、接続する路線バス事業者との協議を重ね、利便性が高く効果的な時間帯の設定を行った。
- ・令和2年に寄贈を受けたバス待合所を活用し、運行地域の各集落における待合環境整備・維持に努めた。
- ・満70歳以上の方を対象とした「いきいきシニアパスポート事業」により、路線バス・デマンドバスを1乗車100円で利用できる環境を構築・維持し、高齢者の社会参加の促進に努めた。

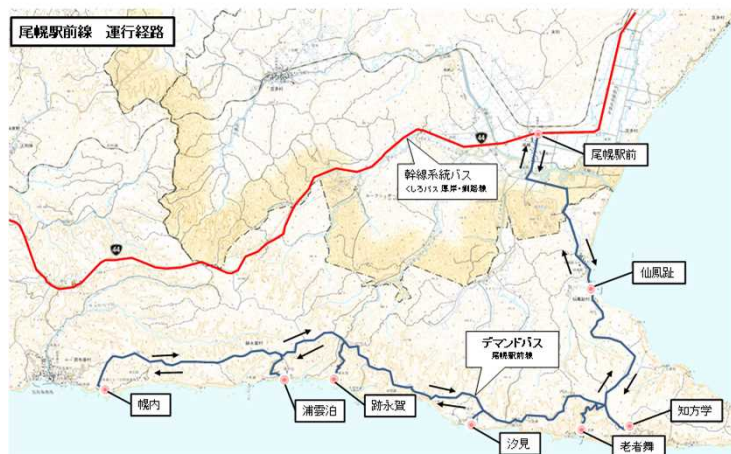
【尾幌駅前線】

- ・高校生の登下校の時間帯に合わせた運行ダイヤを設定し、自宅から通学できる環境の構築に努めた。
- ・昆布森東地区の中学生が進路を検討する上で「自宅からの通学」を選択肢とすることができるよう、対象中学校と連携し、事業周知に努めた。

【昆布森イオン線／共和別保駅前線】

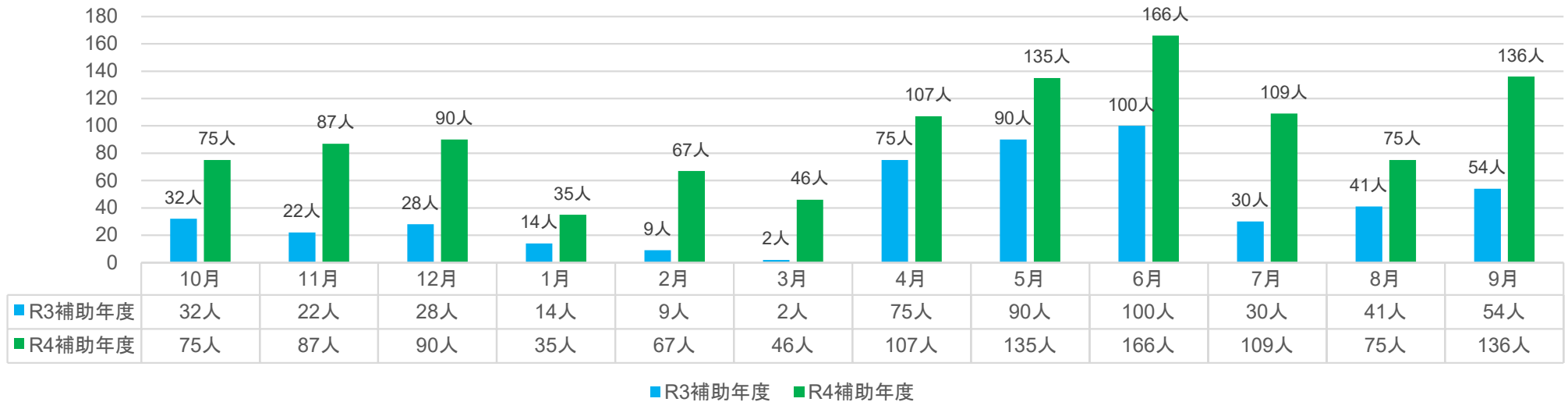
- ・令和3年10月より、買い物や通院等に利用できる生活交通路線として2系統の運行を開始したが、利用者の選択肢の幅を広げるため、上り1便／下り2便とすることで、その日の用事に応じて利用できる環境の構築に努めた。

2) 運行系統

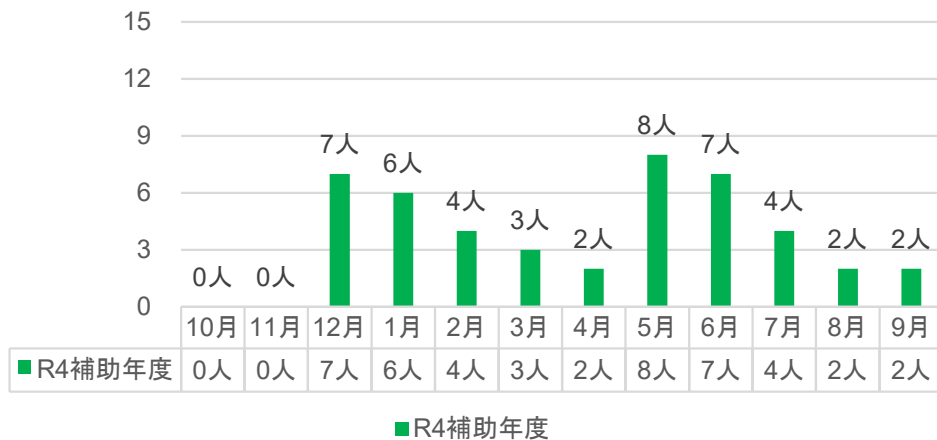


3) 利用実績

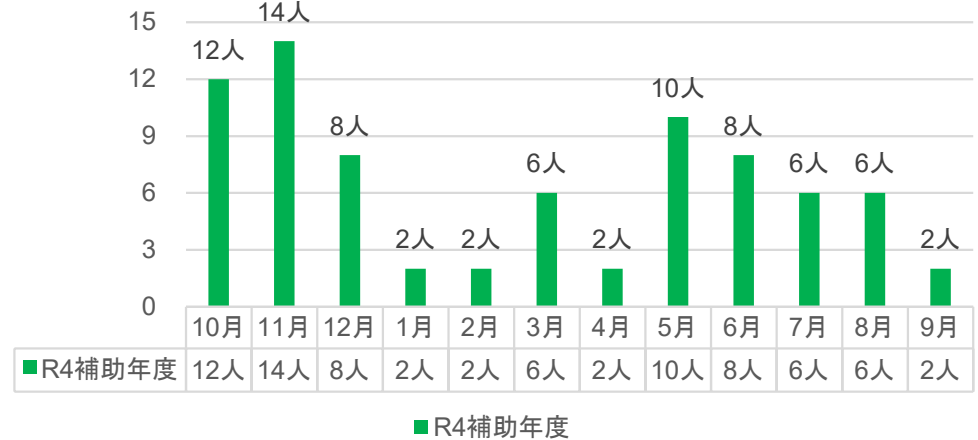
尾幌駅前線 利用実績



昆布森イオン線 利用実績

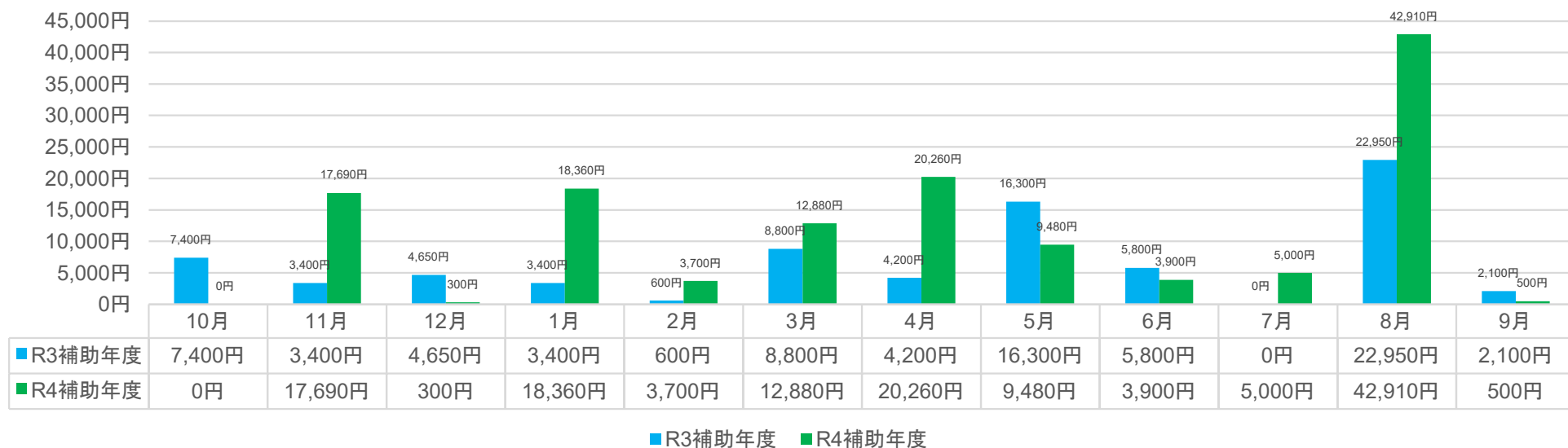


共和別保駅前線 利用実績

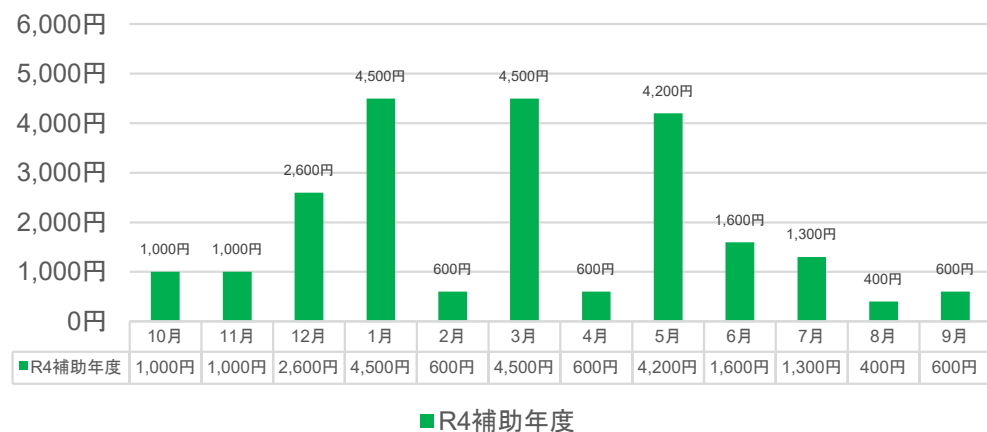


4) 収入実績

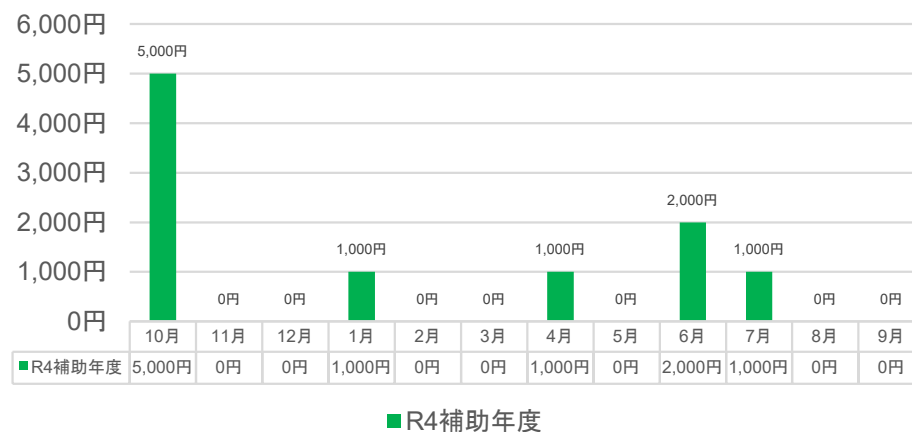
尾幌駅前線 収入実績



昆布森イオン線 収入実績



共和別保駅前線 収入実績



5) 事業実施の適切性

【尾幌駅前線】

運行ダイヤを高校生の登下校の時間帯と併せることで、昆布森東地区の高校生を自宅から通学可能とした。また高校生以外にも、高齢者等の買い物・通院等の利用があり、生活交通路線としての役割も担うことができた。

【昆布森イオン線／共和別保駅前線】

運行地域における高齢者等の買い物・通院等を可能とし、生活交通路線としての役割を担うことができた。

6) 目標・効果達成状況

【尾幌駅前線】

ほぼ目標通りである5名/日の通学定期利用があり、高校生の通学の足を確保することができた。また、高校生以外の高齢者等の利用もあり、生活交通路線としての側面も効果があった。

【昆布森イオン線】

計画に対する運行率19.0%、1便平均利用者数1.1人と目標値を大きく下回った。

【共和別保駅前線】

計画に対する運行率27.0%、1便平均利用者数1.3人と目標値を大きく下回った。

7) 事業の今後の改善点

・運行ダイヤの設定にあたっては、利用者や地域の意見を取り入れながら、接続する路線バス等の運行ダイヤとの整合を図りながら、運行ダイヤ改正を行う。

・昆布森イオン線・共和別保駅前線については、利用者が特定少数となっていることから、対象地域への事業周知を図り、生活交通路線として認識・浸透させることが必要である。

8) 地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果

(令和5年度分と併せて評価)